



輸送時の生コン温度抑制効果が認められ、国土交通省の新技术情報提供システム (NETIS) に国内で初めて登録された遮熱塗料「ファームバリア」

経営革新計画を策定し 新しい事業を展開しています



株式会社 宮防
専務取締役
村社 英秋 さん

当社は昨年10月に創業43年目に突入しました。総合防水工事を専門に行ってきたが、現在は遮熱断熱事業も並行しています。7年ほど前、県内の大手ゼネコンが倒産し、業界全体が厳しい状況に陥ったことがきっかけです。このままではいけないと、私は宮崎商工会議所に相談に行くことにしたのです。「まずは経営革新計画をつくりましょう」とアドバイスをいただきました私は、「経営革新って何?」という感じでしたが、「新しいことをやるのです!」と語られる川村さんやご紹介いただいた専門家の方と経営改善に取り組みました。

資金繰りに困って銀行に行つたときは、川村さんたちも一緒にお願ひしてくれて、とても心強かったのを覚えています。こうして皆さんに支えてもらいながら経営革新計画を作成し、承認を受けることができたのです。そのころ、業界では生き残りをかけ、各社がさまざまな試みを始めていました。そんな中、取引先に材料メーカーの方がいたこともあり、私は遮熱塗料に着目。暑さ対策に悩む畜舎や飼料タンクへの実用化を目指し、農畜産向け「ファームバリア」を開発しました。これまで防水工事一筋だったので、新事業に乗り出すことに不安もありましたが、経営革新計画が認定されたことで周囲からの信頼も得られ、大きな励みになりました。しかし、本格的に新事業に乗り出した矢先、口蹄疫が発生。そんなピンチのときも商工会議所にアドバイスをいただきながら、生コンクリート輸送車の温度抑制という新たな方向性を見いだしたのです。「販路は絞った方がよい」とのご意見をいただき、畜産と生コンクリート輸送車の2つに絞りました。今では38の都道府県で活用いただいています。今後もお客さまのニーズに合わせた商品を考え、本業の底上げにつなげていきたいですね。商工会議所には、中小企業の味方としてこれからも多くの事業者を支援してほしいと思っています。

》ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ!

担当者からひと言



宮崎商工会議所 (宮崎県)
総務部 部長 川村 淳 (中)
専門経営指導センター 課長 児玉 知幸 (右)
宮崎県商工会議所連合会 総務企画課 課長補佐 黒木 竜一 (左)

宮防さんの力になりたいと、われわれも持てる力をフル活用しました。ヒアリングを通じ事業内容を共有し、専門家と共に新事業の実現可能性を検証。それから、経営革新計画の作成に取り組みました。継続的にさまざまな仕掛けを徹底して行ってきたことが、良い結果に結びついたのでと考えています。社員が誇りを持てる企業になることを目指している宮防さんは、昨年度の「宮崎中小企業大賞」をはじめ、多くの賞を受賞しています。村社さんは、多忙でもネットワークを自ら広げ、それを大切にする方です。村社さんのような方を増やしていきたいよう、われわれも新たなつながりをつくり、拡大させていきたいですね。